

経営比較分析表（令和4年度決算）

宮城県仙台市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	26	対象	透I未訓方	救臨感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,067,486	52,286	非該当	非該当	7：1

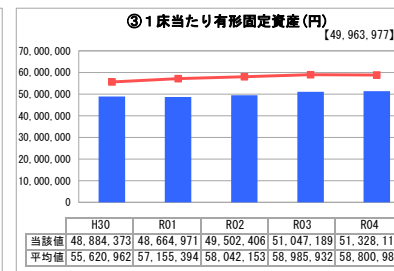
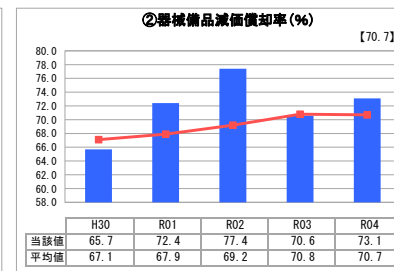
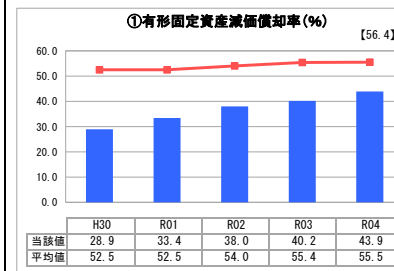
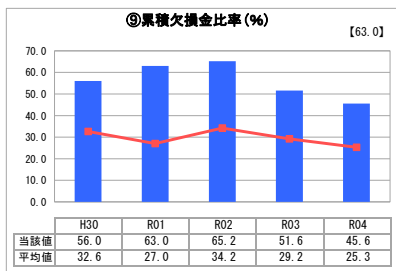
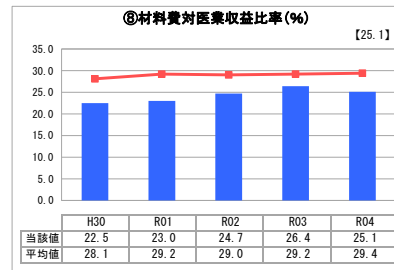
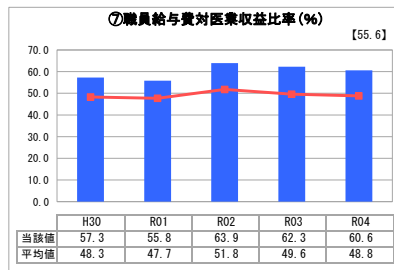
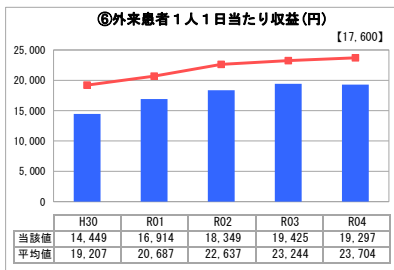
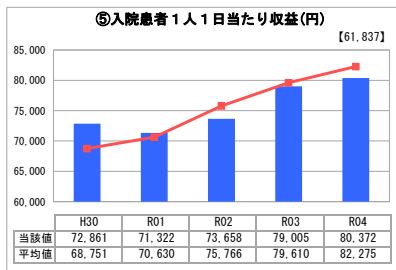
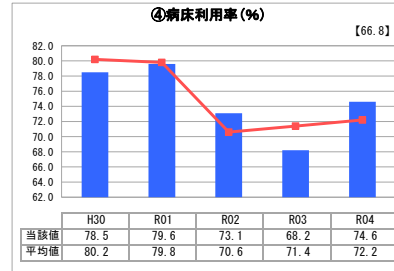
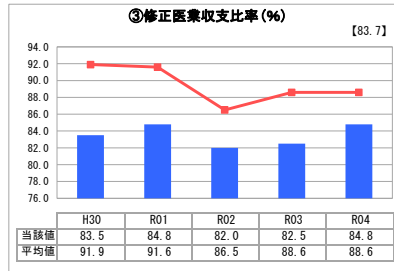
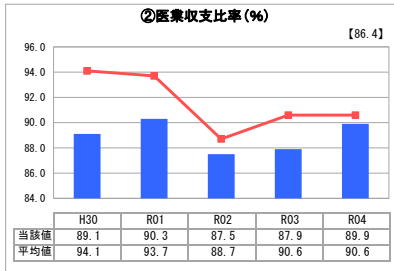
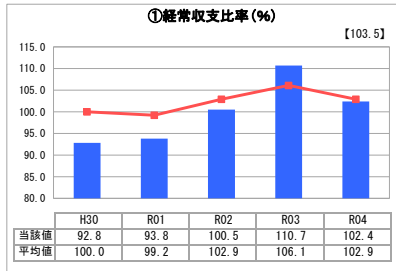
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
467	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
50	8	525
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
405	-	405

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の別棟・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

本市唯一の自治体病院として、救急医療・災害時医療・小児救急医療・周産期医療・身体合併症精神科救急医療・感染症医療などの政策的医療や「地域の中核病院」「市民のための病院」としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率は紹介患者や救急車搬送患者を多く受け入れたことなどにより前年度比で増加し、医業収支比率も増加した。経常収支比率は、新型コロナウイルス感染症関連の補助金が減少したことにより前年度比で減少したものの、累積欠損金比率は前年度比で減少した。入院患者一人当たりの収益については、過去5年間の中で最も高い値となった。

2. 老朽化の状況について

器械備品減価償却率は、新型コロナウイルス感染症関連の補助金等で医療機器を整備した結果、コロナ前よりも減価償却率の伸びが緩やかとなった。一方で、有形固定資産減価償却率、一床当たり有形固定資産については、平成26年度に移転新築したことから類似病院の平均値を下回っている。

全体総括

紹介患者や救急車搬送患者の受け入れにより、患者数を確保することができたことから医業収支比率は改善したものの、新型コロナウイルス感染症関連の補助金が減少したことにより経常収支比率は減少した。今後については、光熱費や物価高騰による施設の維持管理経費の増加に加え、移転時に整備した医療機器の更新等の増加が見込まれることから厳しい経営状況は続く見込みである。引き続き地域の医療機関からの紹介患者や救急車搬送患者の受け入れを積極的に行い、より一層の収益の向上と費用の抑制に努め、安定的な経営基盤を構築するとともに、安全で質の高い医療を提供していく。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。